

ビデオ 60 プラス EFP 取扱説明書



製品コード : 6000



はじめに

このたびはザハトラーカメラサポートシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品をご使用になる前に、必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また本書は必要なときにいつでも読めるよう、大切に保管してください。

1 安全に使用するために

本取扱説明書では、お使いになる方や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・取扱いについて次の記号で警告表示をしています。内容をご理解のうえ、以下の事項を必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

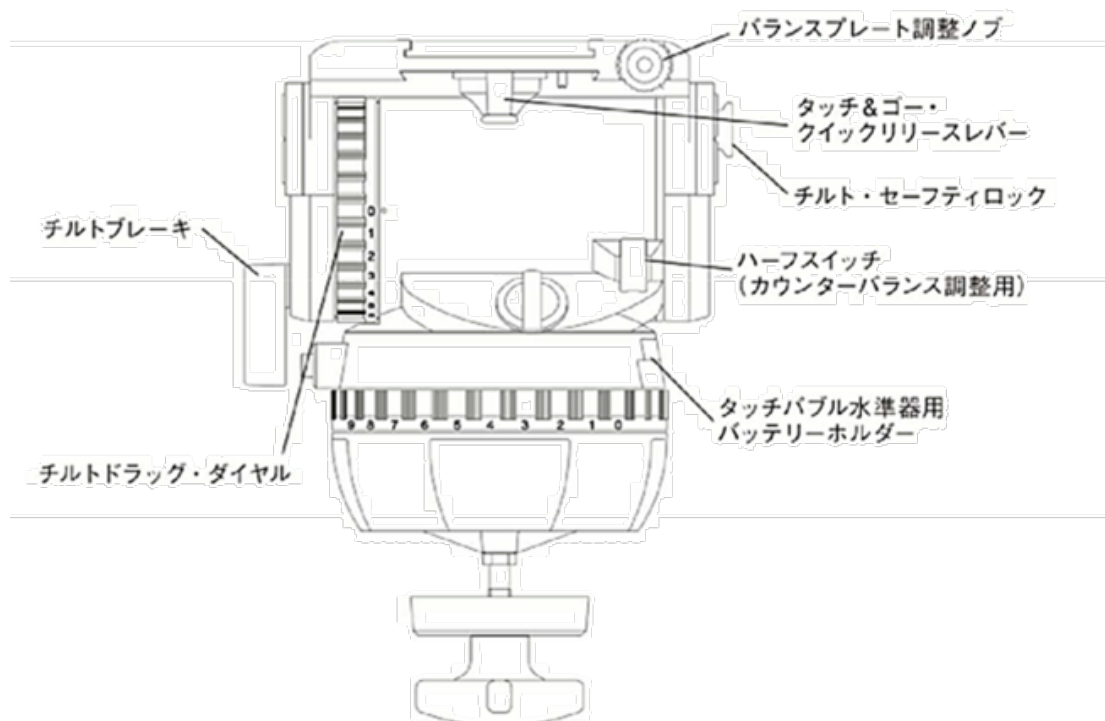
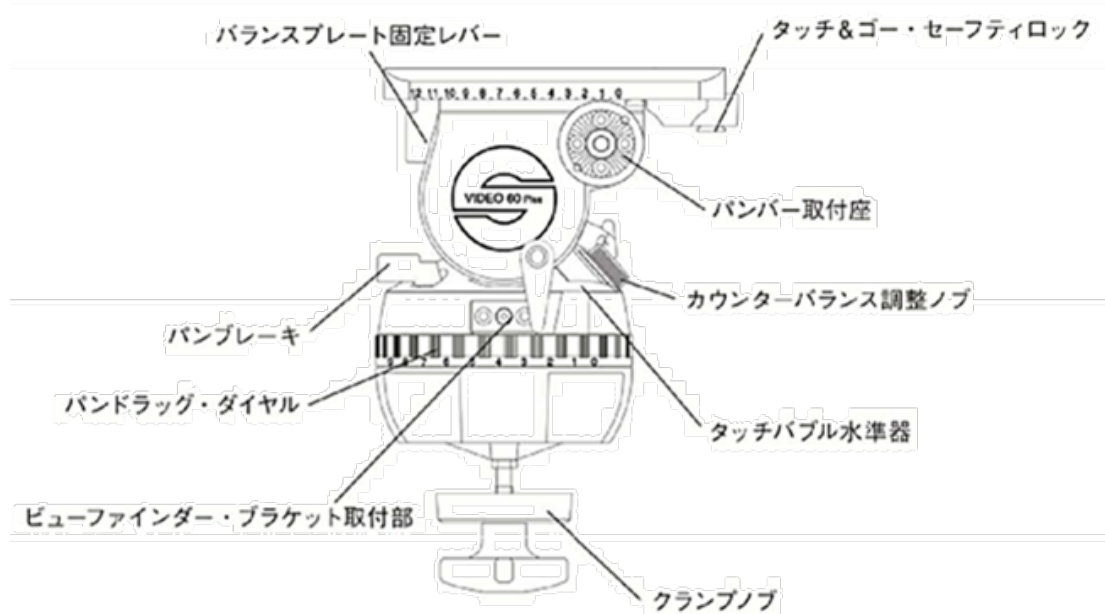
取扱いを誤った場合、使用者が「軽傷を負う可能性または物的損害を発生する可能性が想定される」内容を示しています。



注意

- フルードヘッドにカメラ、もしくはカメラプレートを装着する際は、タッチ&ゴー・クイックリリースレバーの可動範囲に指を置かないようにしてください。バランスプレート上のリリースピンが押し下げられると、クイックリリースレバーが勢いよくはじき返され、指を怪我する恐れがあります。
- カメラを取り付けた状態でフルードヘッドのクランプノブを緩める際は、カメラがフルードヘッドにしっかりと固定され、ヘッドが脱落する可能性がないことを確認してから行ってください。
- チルトブレーキやバランスプレート固定レバーを緩める際には、カメラが突然動かないように確実に固定されていることを確認してから行ってください。
- 三脚の運搬時には、必ずパンおよびチルトドラッグ・ダイヤルを”0”（フリー）に戻してください。

2 各部名称



3 実際の操作

3.1 フルーイドヘッドの水準調整

本フルーイドヘッドには、水準器が備わっています。

まず、フルーイドヘッドのチルトブレーキを掛けます。ヘッドを固定しているクランプノブを回して緩め、水準器内の水泡が黒い輪の中に入るようにヘッドを動かし、水準を取ってください。水準が取れたら、再びクランプノブをしっかりと締め込んでください。

タッチバブル水準器

本フルーイドヘッドには、暗い場所でも簡単に水準調整が行えるタッチバブル水準器が搭載されています。

照明は水準器の表面を強く押すことで点灯します。押す力加減により、最大 45 秒間点灯します。

3.2 カメラプレートの取り外し

本フルーイドヘッドにはタッチ&ゴー・プレートが標準装備されています。

- ⇒ タッチ&ゴー・クイックリリースレバー下の赤いセーフティロックを親指と人差し指でつまみ、下に引き下げてください。
- ⇒ クイックリリースレバーを左いっぱい(カチッという音がするまで)回し、カメラプレートを取り外します。

3.3 カメラプレートの取り付け

カメラプレートを(カメラアクセサリーの)三脚アダプタープレート(フネ)に、カメラの重心位置のあたりで取り付けてください。

- ⇒ カウンターバランス調整ノブを”9”の位置まで回します。
- ⇒ パンブレーキを掛け、チルトブレーキを緩めてください。
- ⇒ カウンターバランスのスプリングは、カメラを一旦チルトさせ水平位置に戻すと自動的に噛み込みます(このときカチッと音がします)。

- ⇒ チルト・セーフティロックを掛けヘッドを固定してください。
チルト・セーフティロックは赤いノブを外側へ引っ張り 90° 回すとカチッと音がし、位置を固定できます。ロックが掛かると赤いノブの下に見えていた緑色のマークが隠れます。チルト・セーフティロックが噛み込んでいるか確認してください(この状態でヘッドは固定され動かなくなります)。
- ⇒ まずカメラプレートの前側を差し込みます。
- ⇒ あとはヘッド上にカメラを置くだけでカメラは自動でロックされ、セーフティロック・レバーはパチンという音とともに元の位置に戻ります。

3.4 カメラの取り外し

- ⇒ チルト・セーフティロックでヘッドを固定します。
チルト・セーフティロックの赤いノブを引っ張り、90°回すとカチッと音がし、ヘッドが固定されます。赤いノブの下に見えていた緑色のマークが隠れている状態が、ロックが掛かっている印です。実際にセーフティロックが掛かったか確認してください(この状態でヘッドはチルトしなくなります)。
- ⇒ カメラを支えます。(必要な際は 2 名以上で)
- ⇒ クイックリリースレバー下の赤いセーフティボタンを親指と人差し指でつまみ、下に引き下げてください。
- ⇒ クイックリリースレバーを左いっぱい(カチッという音がするまで)回し、カメラプレートを取り外します。

**注 意**

カメラを支える際は、落下事故防止のため必要に応じて 2 名体制で行ってください。

3.5 カメラの調整

- ⇒ パンバーをしっかりと握りカメラを固定します。
- ⇒ パンブレーキを掛け、チルトブレーキを緩めてください。次にチルト・セーフティロックの赤いノブを外側へ引っ張り、90°回してロックを解除します。ロックが解除されると、赤いノブの下に緑色のマークが現れます(パンバーを上下に動かすと、ロックがスムーズに外れます)。
- ⇒ チルトドラッグ・ダイヤルを“0”にセットします。

- ⇒ バランスプレートのロックを緩めてください。
バランスプレートの前面底部にあるバランスプレート固定レバーを左いっぱいに戻すと、ロックが緩みます。
- ⇒ バランスプレート調整ノブを回し、プレートを前後に動かして、カメラの水平バランスが取れる位置を探してください。後部が重いカメラは調整ノブを時計回りにまわし前方に、前方が重いカメラは調整ノブを反時計回りにまわし後方に、バランスプレートを移動させます。このとき、フルードヘッドの水平位置が取れていると、カメラの水平バランスが見つかりやすくなります。
- ⇒ バランスプレートはクランプレバーで固定します。
(バランスプレート調整ノブは自動ロック機構を備えています。)
- ⇒ 赤いレバーを再び元の位置に戻し、バランスプレートをロックしてください。

**注 意**

カメラの重心がどうしても取れない場合は、三脚アダプタープレート（フネ）上のカメラプレートの位置を移動させてください。

3.6 カメラのカウンターバランス調整

- ⇒ パンバーをしっかり握り、カメラを押さえます。
- ⇒ カウンターバランス調整ノブを回し、カメラ重量に対し最もバランスの取れる数値に合わせてください。
- ⇒ カウンターバランスを数値の大きい方から小さいほうへセットした場合は、そのままカメラをチルトさせ任意の位置で止めた際に、大きく上下に動くことなく、カメラが止まるかを確認します。
- ⇒ （小さなウェイトのマークのある）右側のレバーを入り切りすると、ハーフスプリングを掛けるもしくは外すことができ、さらに細かいカウンターバランスを取ることができます。
- ⇒ ブーストレバーにより、カウンターバランスの耐荷重域を移動させることが可能です。カメラを重い仕様で使う場合は、ブーストレバー（大きなウェイトの印が描かれたレバー）を入れてください。

注意：カウンターバランス量の大きい方から小さい方へ設定した場合、チルト方向に傾けたどの位置でも、カウンターバランスは直ちに効きます。反対に、カウンターバランス量の小さい方から大きい方へ設定した場合は、ヘッドを水平位置まで戻してはじめてカウンターバランスが効くようになります（その際、カチッとモジュールの噛み込む音がします）。

3.7 ドラッグの調整

フルードヘッドには、パンおよびチルト方向ともに 9 段階＋フリーの設定が可能なドラッグレベルが設けられています。パン方向およびチルト方向にダイヤルを回し、フルードダンピングの任意のドラッグレベルを選べます。

ダンピング効果を完全に解除するには、ダイヤルを“0”に回してください。

ダイヤルをパン・チルト方向ともに同じ数値（たとえば“3”）に設定すると、パン方向およびチルト方向のダンピングレベルが均一になるため、がたつきのない正確な斜め方向のパンニングが行えます。

ダイヤルは常に矢印のある位置まで回っていることを確認してください。カメラをゆっくりパンもしくはチルトさせることで、ギアが噛み込みます。



注 意

ダイヤルが矢印と矢印の間にある状態でカメラをパンもしくはチルトさせてしまうと、ヘッド内部ギアを傷める恐れがあります。

3.8 ブレーキ

パンブレーキはパン方向の動きを、チルトブレーキはチルト方向の動きを固定します。両方のブレーキはブレーキを掛けた際に振動が起こらないため、撮影中でも使用することができます。

3.9 ビューファインダー・エクステンションおよびフロントボックス用サポート

ビデオ 60 プラスは、ヘッドの左側面がビューファインダー・エクステンション用のサポートシステムを取り付けられる仕様になっています。

またヘッド正面には、フロントボックスアダプター取付用の穴が設けてあります。

3.10 バッテリーの交換

タッチバブル水準器の照明は、バッテリーホルダーに収納されている標準のボタン電池（625U もしくは LR9）で点灯しています。バッテリーホルダーは、ドライバー等の尖ったもので開けることができます。

新しいバッテリーに交換する際は、バッテリーホルダー内に記載されている“+”と“-”の記号で挿入方向を確認してください。

バッテリーは約 2000 回の点灯が可能です。

3.11 運搬および保管時のパン・チルトドラッグ、カウンターバランスおよびブレーキの設定

フルイドヘッドの使用後、特に運搬時はパン・チルトドラッグ共にダイヤルの位置を“0”に合わせてください。

ギアが入った状態（“0”以外の位置）で、外部から振動・衝撃が加わるとギアが噛みこんでしまいダイヤルが回らなくなる可能性があります。

また、噛み込まない場合でも振動・衝撃が直接ギアに伝わり、ギア部分の磨耗、最悪の場合はギアの破損に繋がる恐れがあります。

より永く良い状態で製品をご使用いただくために、ヘッド使用後はダイヤルを常に“0”に戻してください。

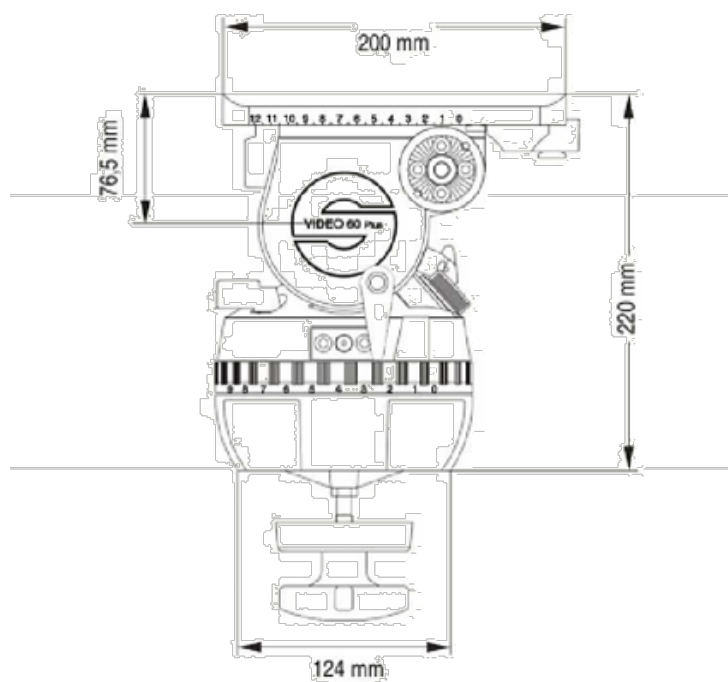
さらに、カウンターバランスは最大に設定し、パンおよびチルトロックを軽く掛けることで、万が一ヘッドに振動・衝撃が加わった際でも、ヘッド内部への衝撃を抑えることができます。

4 テクニカルデータ

4.1 主な仕様

カウンターバランス：	18 段階
バランスプレート移動幅：	115mm
ドラッグ：	パン・チルトともに 9 段階およびフリー
チルト角：	+90°～-60°
パン範囲：	360°
使用温度範囲：	-40℃～ 60℃
本体重量：	9.5kg
最大耐荷重量：	16kg～65kg
カメラ取付け部仕様：	タッチ&ゴー・ロックシステム
三脚/ペデスタル取付け部仕様：	150mm ボール
パンバー：	伸縮型（直径：18～22mm、長さ 350～520mm）
使用電池：	625U もしくは LR9 x3 個

4.2 寸法図



5 保証

本製品の保証期間は 1 年間です。

ただし、次の場合には当社の保証が適用されません。

- ⇒ フルーイドヘッドが不適切に扱われた場合、またはテクニカルデータに記載された条件の範囲外で使用された場合。
- ⇒ 当社が認定していない者が製品を分解した場合。

お問い合わせ先：

ヴィデナムプロダクションソリューションズ株式会社

〒105-0011 東京都港区 芝公園 3-1-38

芝公園三丁目ビル 1 階

電話：03-5777-8040 FAX：03-5777-8041

大阪オフィス

〒531-0072 大阪市北区 豊崎 5-2-13

電話：06-6359-2440 FAX：06-6359-2441



※ 本取扱説明書の内容、および製品のデザイン・仕様等は、予告なく変更になる場合がございます。

Rev.4.0 作成：2022 年 6 月

